

# 『治療薬ハンドブック 2017 薬剤選択と処方のポイント』

## 訂正のお知らせ

ご購入いただきました「治療薬ハンドブック 2017—薬剤選択と処方のポイント」（2017年1月15日発行）におきまして、以下の誤りがございました。ここに訂正させていただきますとともに、深くお詫び申し上げます。

2017年5月26日

### 【正誤表】

<訂正箇所>

668頁「エクア」（ビルダグリプチン）

【薬剤 Point】の記載

誤	正
…の投与量を減量. <u>胆汁中排泄(80%)</u>	※削除

<訂正箇所>

669頁「トラゼンタ」（リナグリプチン）

【処方 Point】の下に【薬剤 Point】を追加

**【薬剤 Point】胆汁中排泄(80%)**

<訂正箇所>

1219 頁 同効薬比較表◆アレルギー性疾患治療薬（非ヒスタミン・抗アレルギー薬）

同効薬比較表◆アレルギー性疾患治療薬（非ヒスタミン・抗アレルギー薬）

第一世代

一般名	抗ヒスタミン薬（第二世代）								抗ヒスタミン薬（第一世代）		ロイコトリエン受容体拮抗薬		プロスタグランジン受容体拮抗薬
	エバスタチン塩酸塩	エピナスチン塩酸塩	オロパタジン塩酸塩	セチリジン塩酸塩	フェキソフェナジン塩酸塩	ベボスタチンベシル塩酸塩	レボセチリジン塩酸塩	ロラタジン	d-クロルフェニラミンマレイン酸塩	ジフェンドラン塩酸塩	プラナルカスト水和物	モンテルカストナトリウム	ラマロロバン
商品名	エバステル錠・OD錠	アゾジオン錠・ドライシロップ	アレコロン錠・顆粒・OD錠	ジルテック錠・ドライシロップ	アレグラ錠・OD錠・ドライシロップ	タリオン錠・OD錠	ザイザル錠・シロップ	クラリチン錠・レディタプ錠・ドライシロップ	ボラミン錠・散・シロップ・ドライシロップ	レスタミンコープ錠	オノンカプセル・ドライシロップ	キプレス錠・チュアブル錠・顆粒 / シンクリア錠・チュアブル錠・顆粒	バイナス錠
対象	健康成人	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子	健康成人男子
投与量（単回）	5mg	20mg	5mg	10mg	60mg	10mg	5mg	10mg（空腹時、水あり）	4mg	225mg	10mg	75mg	
Tmax (hr)	4.9 (水なし) / 5.7 (水なし) / 3.1 (水なし)	1.9 (水なし) / 3.1 (水なし)	成人: 0.75 / 0.76	1.44 (水なし) / 0.82 (水なし)	2.0 (水なし) / 2.0 (水なし)	1.2 (水なし) / 1.0 (水なし)	1.00	1.37 (水なし) / 1.11 (水なし) / 1.85 (水なし) / 1.59 (水なし)	3	—	5.2	3.9	1.83
t1/2 (hr)	18.3 (水なし) / 18.1 (水なし)	9.2 (水なし) / 8.09 (水なし)	8.75	6.73 (水なし) / 8.03 (水なし)	16.6 (水なし) / 19.0 (水なし)	2.4 (水なし) / 2.5 (水なし)	7.33	11.5PM (水なし) / 13.7 (水なし) / 20.1 (水なし) / 20.1 (水なし)	7.9	(5.0)	1.15	4.57	2.11
バイオアベイラビリティ (%)	—	39.1 (外国人)	—	—	—	82	—	—	41 (25~50)	42 (72 (外国人))	—	58~67	—
クリアランス (mL/min)	—	841.5 (外国人)	322 (CL/F)	87.1 (CL/F)	740 (CL/F)	465 (CL/F)	40.67 (CL/F)	6.683 (ロラタジン) (CL/F), 4.150 (DCL) (CL/F)	119 (6)	600~1,300 (外国人)	1,140 (CL/F)	46.8 (外国人)	688.33 (CL/F)
分布容積 (L)	—	592 (外国人)	305 (Vd/F)	35 (Vd/F; 外国人)	—	89.4 (Vd/F)	25.14 (Vd/F)	4.810 (ロラタジン) (Vd/F), 4.425 (DCL) (Vd/F)	325.4 (Vd/F)	231~476 (外国人)	91.8 (Vd/F)	10 (外国人)	205.2 (Vd/F)
蛋白結合率 (in vitro) (%)	エバスタチン: 99.9 / カレバスタチン: 97.4~97.7	64.2 (外国人)	65.6	92	60~82	55.0	約 92	ロラタジン: 96.8~97.9 / DCL: 73.3~75.6	72	98.5 (6)	99.7~99.8	99.6	97~98
未変化体尿中排泄率 (%)	経口 72hr 値: エバスタチン 0.1 / カレバスタチン 1.7	経口 < 25.4 (外国人)	経口 48hr 値: 58.7~73.4	経口 24hr 値: 約 50	経口 48hr 値: 11.1	経口 24hr 値: 76.4~87.9	経口 48hr 値: < 73	経口 48hr 値: 検出されない / DCL: < 1 (外国人)	< 1 (6)	経口 24hr 値: 1.49 (外国人) / 10 (6)	経口: 0.01	定量限界以下	経口 24hr 値: 2.37
活性代謝物対未変化体効力比	カレバスタチン (ほとんどがカレバスタチンに代謝される)	—	M1: 1.1~2.1 / M3: 0.7	酸化の O-アレルキル体 = P026 (抗ヒスタミン作用は in vitro 約 1/8, in vivo 約 1/20)	—	—	ほとんど代謝されない	DCL: 4~7.9	—	—	M-1: 1/40 / M-2: 1/220	M6: 1 / M1, M2, M4, M5: 弱い	—
代謝酵素 (CYP)	2J2, 3A4	カブチン代謝物の生成に 3A4, 2D6, 2B6	3A4	—	(ほとんど代謝されない)	—	3A4	3A4, 2D6	2C11, 2B1, 2D6	—	主に 3A4	主に 2C8, 3A4, 2C9	3A4

<訂正箇所>

別冊ポケットカード「吸入配合剤一覧」

1吸入

区分	商品名	吸入回数/日	BA発作時	総噴霧回数/瓶	添加物等	特徴
ICS + LABA	アドエア100ディスカス	1回1~2吸入, 1日2回	○	28回, 60回 (プリスター)	乳糖	BA・COPDの両適応, DPI・pMDIの両剤型を有する。
	アドエア250ディスカス					
	アドエア500ディスカス					
	アドエア50エアゾール	1回1~2吸入, 1日2回	○	120回	HFC-134a	100ディスカス, 50エアゾールは小児適応あり
	アドエア125エアゾール					
	アドエア250エアゾール					
フルティフォーム50エアゾール	1回2~4吸入, 1日2回	○	56回, 120回	HFC-227, DSCG, エタノール	FMIは即効性も有する LABA, エタノール含有	
フルティフォーム125エアゾール						
LABA + LAMA	シムビコートターベキュレーター	維持: 1回1吸入, 1日2回 (最高1回4吸入, 1日2回) 頓用: 1回1吸入 (最高6吸入まで可)	○	30回, 60回	乳糖	コントローラーとして使用している患者では, リリーバーとして発作発現時に追加吸入を行うことが可
	レルベア100エリプタ	1回1吸入, 1日1回	○	14回, 30回	乳糖, ステアリン酸Mg	VIは即効性も有する LABA
	レルベア200エリプタ	1回1吸入, 1日1回	○	7回, 30回	乳糖, ステアリン酸Mg	1日1回1吸入製剤
	ウルティプロ吸入用カプセル	1回1Cap吸入, 1日1回	○	1カプセル	乳糖, ステアリン酸Mg	1日1回1吸入製剤
	スピオルトレスピマット	1回2吸入, 1日1回	○	28回	BKC, EDTA	細かい霧を噴出するソフトミスト吸入器

【添加物等の略号】 HFC-134a: 1,1,1,2-テトラフルオロエタン, HFC-227: 1,1,1,2,3,3,3-ヘptaフルオロプロパン, DSCG: クロモグリク酸ナトリウム, BKC: ベンザルコニウム塩化物, EDTA: エドト酸ナトリウム水和物

(2016年11月作成)

<訂正箇所>

930 頁「エリキュース」(アピキサバン)

【適応, 用法・用量】

② 静脈血栓塞栓症 (深部静脈血栓症及び肺血栓塞栓症) の治療及び再発抑制

**腎障害等** の記載

誤	正
<u>腎障害等</u> 80 歳以上, 体重 60kg 以下, 血清 Cr1.5mg/dL 以上のうち 2 つ以上該当する患者には 1 回 2.5mg を 1 日 2 回	※すべて削除